

### ＜本委員会のミッション＞

新型コロナウイルス対応で需給が逼迫している消毒用アルコール等の状況を踏まえ、一般家庭等で入手可能なもののうち一定の消毒効果を有し得る候補物資について、本委員会の下で文献情報を収集分析し、さらに実際に検証試験を実施することで、消毒方法に関する緊急的な有効性評価を行う。その際、「科学的な客観性の確保」、「迅速な対応」、「国民にわかりやすい整理」のバランスに配慮した検討を行う。

### ＜消毒効果を有する可能性のある候補物資＞

新型コロナウイルスへの消毒方法の評価に関する文献情報は現時点では見当たらない。このため、新型コロナウイルスと同様のRNA型エンベロープウイルスである他のコロナウイルスなどに関する文献情報をもとに評価を行う。新型コロナウイルスと同様のRNA型エンベロープウイルスである他のコロナウイルス（SARSコロナウイルス等）やインフルエンザウイルスに対する抗ウイルス効果に関する文献情報をもとに新型コロナウイルスに対する効果の可能性を類推すると、新型コロナウイルスに対しても一定の消毒効果を有する可能性のある候補物資として下記の物資が考えられる。

- ①界面活性剤（台所用洗剤など）
- ②次亜塩素酸水（電気分解法で生成したもの）
- ③第4級アンモニウム塩

加熱・アルコール消毒・次亜塩素酸ナトリウム消毒は既に一般的に広く認識されているため、上記検討には含めていない。なお、消毒効果を有する可能性のある物資は上記以外にもあり得るが、現行の状況下でも継続的な供給ができるとの観点で検討を行ったものとなる。また、上記①～③の候補物資については、その性質上、原則として物品に対する消毒を想定したものとなる。